

42077

教科書文庫

4
720
41-1912
20000
18399

丁元
1912

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

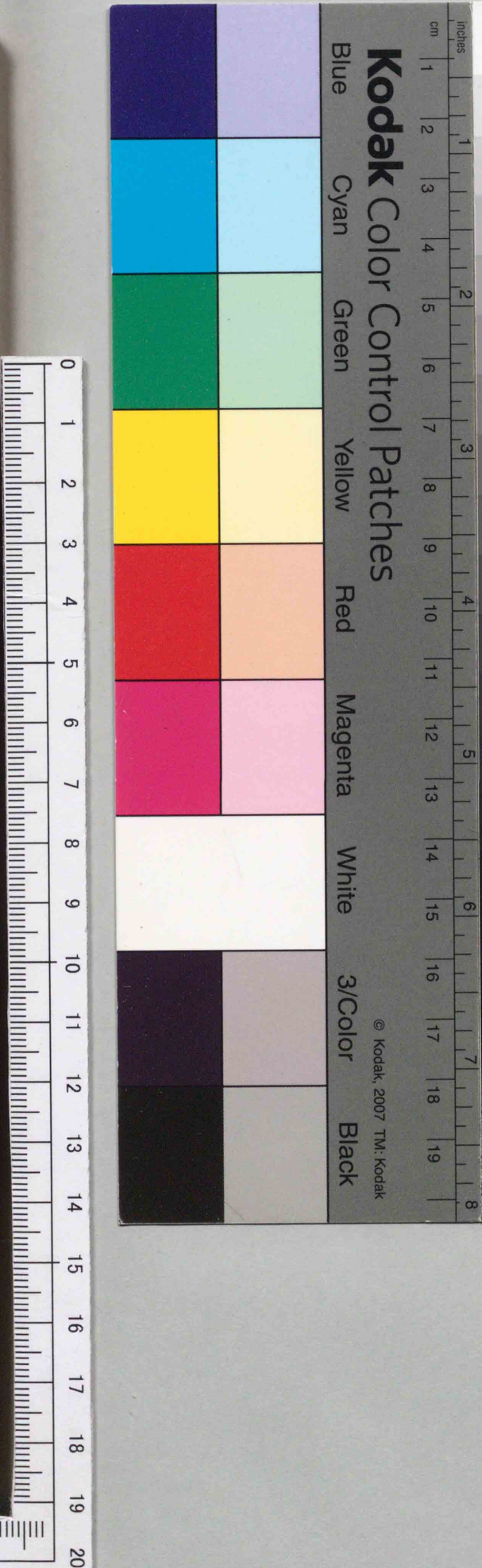


© Kodak 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak 2007 TM: Kodak



375.9
Ka7
資料室

訂再
中等習字教本

香川松石書

卷二



資料室 3759

Ka7

廣島大學圖書印

大正元年
十二月十二日

文部省檢定濟



香川松石書

再訂中等習字教本

卷二

青島大學
圖書館印

草墓幕募慕

奉奏泰俸捧

與舉譽學覺

勸歡觀灌鐘

途述道通遣

遺赴趣廷延

日晷一度移れ千歳再来

の今なし形神已に離るれ

ば萬古再生乃我をして學藝

事業豈悠々たるべけんや

決快抉缺訣

奴努怒恐怒

例
恠
倒
側
測

術
衙
衛
衝
衡

壁
壁
僻
癖
避

辨
辯
辨
弼
殊

書を讀むは當に沙を淘志
て金を拾ふが若く為へし

取る事は其廣きを欲し擇
ぶ事其その精しきを欲す

文章經國之大

業不朽之盛事

諾輕者信必寡



面譽者背必非

學者その身を奉ずる當
に金玉のごごとく然るべし微

にだふ闕失あらば以て天
下の至寶となすに足らば

合抱之木生於

毫末九層之臺

起於累土千里

之行始於足下

泰山不讓土壤

河海不擇細流

鞭聲肅々夜過河

曉見千兵擁大牙

遺恨十年磨一劍

流星光底逸長蛇

氣霽れては風新柳の髪を梳り
氷消えたる波舊苔に鬚伐洗ふ

雪も鵝毛に似て飛んで散亂し
人は鶴氅を被て立つて徘徊す

水名有冒於西

海州何儀津津

東坡先生集卷之十

先生集卷之十

威威 塾塾 热热 難難

後後 液液 连连 连连

樓梅終極輕影

察察不為萬教友

富家不用買公田

山中自有子種粟

安居不用架高堂

畫中自有黃金屋

急應之者知禮者

在在是之知榮辱

為德者乃福之源

好德者死貧之也

詔書

朕惟ふに方今人文日に就り月

二ノ廿七

に將み東西相倚り彼此相濟し
以て其の福利を共にす朕は爰に
益々國交を修め友義を惇し

列國と與に永く其の慶に頼ら
むことを期す顧みるに日進の大
勢に伴ひ文明の惠澤を共にせ

むとする固より内國運の發展
に須つ戦後日尚淺く庶政益々
更張を要す宜く上下心を一にし

忠實業に服し勤儉産を治め惟
れ信惟れ義醇厚俗を成し華を
去り實に就き荒急相誡め自彊

息まざるへし

抑々我か神聖なる祖宗の遺訓と
我か光輝ある國史の成跡とは

炳として日星の如し寔に克く
恪守し淬礪の誠を輸さは國運
發展の本近く斯に在り朕は方

今の世局に處し我が忠良なる
臣民の協翼に倚藉して維新の
皇猷を恢弘し祖宗の威徳を對

揚せむことを庶幾ふ爾臣民其
れ克く朕か旨を體せよ

御名 御璽

明治四十一年十月十三日

刷印日八十月二十年九十三治明
 行發日二廿月二十年九十三治明
 刷印正修日五月十年三十四治明
 行發正修日八月十年三十四治明
 刷印版再訂修日一月二十年三十四治明
 行發版再訂修日五月二十年三十四治明

大大大大
 正正正正
 元元元元
 年年年年
 十二十月
 二月月月
 十五五一
 日日日日

發行所

鐵 東京市日本橋
 砲 町

文盛堂書店

東京市神田
 錦町一丁目
 明治書院

印發 發 補 書編
 刷行 行 筆 輯
 者兼 者 者 者兼

故 香 川 熊 藏
 板 倉 折 枝
 三 樹 一
 東京市神田區錦町一丁目十番地
 東京市日本橋區鐵砲町三番地
 榊 原 友 吉



同同再再
 再再訂訂
 版版發發
 發行行刷

定價 金貳拾錢

松石香川皞書



